

日々感じる自分の成長と 高まる仕事の達成感

鶴田 知華子 税務職員 | 2014年採用
Tsuruta Chikako 伊万里税務署 法人課税部門



Question 1 現在の仕事内容について教えてください

私は現在、法人課税部門に所属し、会社が提出する法人税や消費税等の申告書が正しく申告されているかを、その会社に赴き確認する調査の仕事をしています。

様々な業種の会社へ赴き、会社の役員の方とお話する機会が多いので、緊張することもあります。業界特有の知識や、地域の特色を日々自分の知識として吸収でき、さらに習得した知識を今後の調査事務へつなげていくことでやりがいを感じながら仕事に携わっています。



Question 2 採用前と採用後のイメージの違いはありますか

税務署について怖いというイメージを持っている方は少なくないと思います。私も、採用前は堅い役所で、男性が働く職場だと思っていました。しかし、実際に働いてみて、明るく活気あふれる職場であると感じています。また、研修時に会った全国の同期と励ましあい、切磋琢磨しながら業務に従事しています。

さらに、福利厚生面においても、病気や怪我、育児に伴う様々な休暇制度があり、宿舍関係やレクリエーションなどの福利厚生面も充実しています。育児中の女性職員も活躍でき、男性のみならず女性も働きやすい職場だと思います。



Question 3 働き始めて、自分の中で変わったことはありますか

自分の中で大きく変わったのは、責任感を持つようになったことです。

調査先では、調査の進め方を自分で考え、判断して調査を進める必要があります。様々な場面で専門的な知識が求められ、まだ20代の私は、知識や経験不足から時には悩むこともありますが、調査をやり終えた後は達成感ややりがいを感じます。

最初は、自分に務まるのか不安を感じることもありましたが、先輩職員方の悪質な不正計算を行う納税者に対する毅然とした態度や、またある時は、納税者からの質問に対して親切に対応する姿をみて、目標とする先輩を見つけ、少しでも目標とする先輩に近づけるよう努めることで、日々の成長を感じています。



メッセージ

Message



税務の職場は、適正公平な課税を実現するため各人が使命感を持って業務に当たっています。そのためには、専門的な税法の知識等が必要となりますが、それらをしっかりと学べる研修制度や、上司・先輩に相談しやすい職場環境ですので不安を感じる必要はありません。国の税制に関わる重要な仕事に携わりたいなどの強い使命感と誇りを持っている方は、ぜひ税務の職場を選んでほしいと思います。